

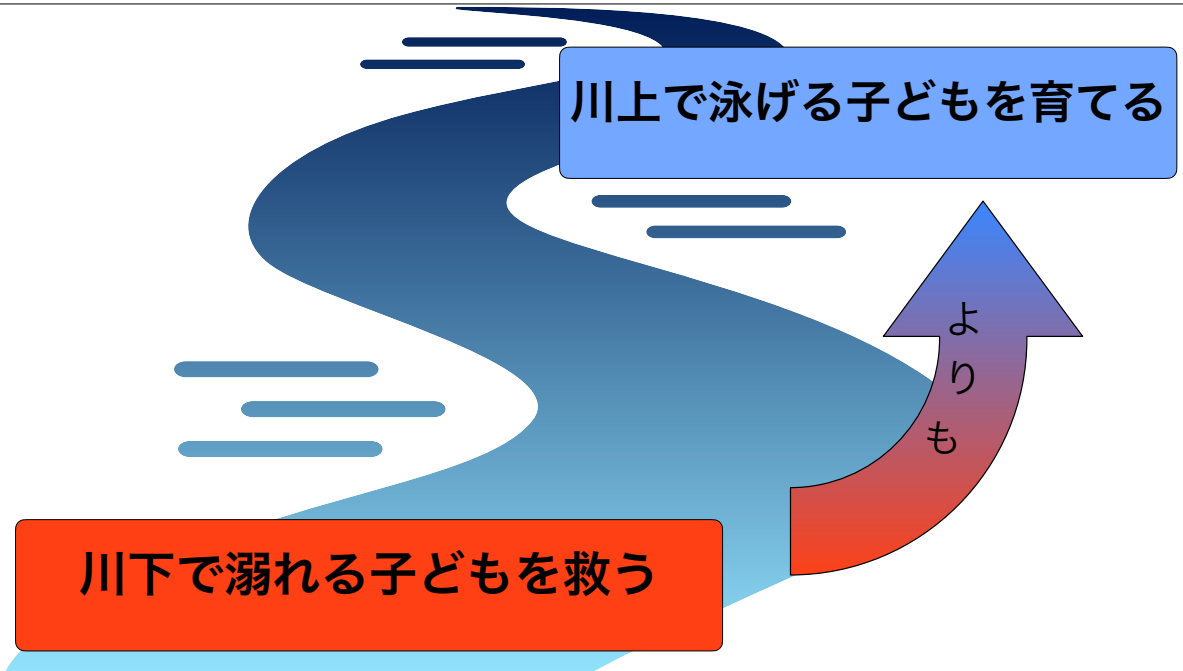
重点課題と課題解決の具体的方策

学校教育目標

「自立をめざす生徒」～自分を生かし 社会に貢献できる人間に～
を実現するために

2021 美山中学校 校長

自立をめざす生徒 Ⅱ 自分で泳げる生徒



川上で泳げる子どもを育てる

川下で溺れる子どもを救う

より
も

すべての生徒に基盤となる力を
なんとか一人で泳ぎ方を身につけられるように

仲間と共に支え合う力を
一人では無理だけど仲間と教え合いで

先生や専門家の力で
特性や環境など本人だけでは無理なら

学力の枠組みをとらえ直す

OECD Learning Framework 2030

教育・学習者に必要な力

自己調整力

他者の価値観を尊重

対立の調停力

自分・友人・コミュニティの
幸福を求める意識と能力

マルチレベルアプローチ
Multi Level Approach
= 包括的生徒指導
の援用による課題解決

マルチレベルアプローチ(MLA)とは

全ての生徒に「全人的成長」を

①SEL「社会性と情動の学習」

④ピアサポート

②PBIS「肯定的行動介入と支援」

⑤協同学習

③感情交流

⑥アセス「学校適応感尺度」

①SEL「社会性と情動の学習」

"WIN WIN LIFE"

(朝活動の10分間等)

●ロールプレイを中心に

- ・自分や他者の感情や背景のつかみ方
- ・思いの伝え方、誠実なやりとり
- ・ストレス対処法、責任のとり方等を学ぶ



②PBIS「肯定的行動介入と支援」

☆望ましい行動を明示, 賞賛, 強化

- ・ いわゆる良さを見つけ
- ・ 場面ごとにめざす姿
- ・ 生徒自身が考える



③感情交流「情緒的交流時間」

☆日替わりのテーマについて毎日会話を

- ・ ほめたい仲間, 今日の見聞等
- ・ 帰りの会で班内交流
- ・ 否定せずしっかりと反応
- ・ 受け入れられる経験



④ピアサポート「生徒同士で支え合う」

☆ピア=仲間 サポート=支える
支えるスキルと支えられた経験

- ◎下級生支援、いじめ予防
- ◎生徒出演動画で学活
- ◎自信、今度は誰かを



3年生が新入生にクイズでやさしく校舎案内

⑤協同学習「人間関係ベースの学習形態」

☆協働で課題解決する力を育てる

- ・ 個人思考とグループ思考
- ・ 個人の役割や責任の取り入れ
- ・ 他のプログラムの実践力

各班で同じ役割を担った
ものが集まって課題解決
→班へ持ち帰る



⑥ASSESS アセス「学校適応感尺度」

アセスの6因子

- 1 生活満足感（日々の生活）
- 2 教師サポート（担任からの支援）
- 3 友人サポート（友人からの助け）
- 4 向社会的スキル（自分から関わる）
- 5 非侵害的關係（いじめ被害がない）
- 6 学習的適応（勉強についていく）

その他の特色ある教育活動

【実践的いじめ予防授業】

- ・いじめの定義を学ぶ
- ・いじめの構造を学ぶ
- ・いじめを事例で考える
- ・役割演技で体感してみる
- ・自分自信を振り返る
- ・具体的な解決策を考える

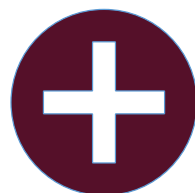
【実践的キャリア教育】

- ・エントリーシートを書く
- ・経済の仕組みを体験する
- ・地元企業の魅力を学ぶ
- ・若きプロの生き方を学ぶ
- ・国際的視点で仕事を見る
- ・地元活性化プランを企画

美山中学力向上プロジェクト

システム

協同学習&PS
自己調整学習
高校企業等連携
大学連携研究



ツール

タブレット
総合学力調査
分析ソフト
ドリルパーク

「自立をめざす生徒」の育成のために

家庭や地域と力をあわせて

学校でできることを精一杯努めます